

礼状

謹 啓

早春の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災から丸一年が経過しました。

福島県は、地震と津波で多くの尊い命、財産を失い、さらに原発の事故、風評被害を加えた「四重苦」が現在も続いています。

こうした中、県民が一丸となって必死にこの難局に立ち向かっています。

貴団体（貴社）におかれましては、これまでの間、様々な面で多大な御支援をいただき、福島県民を代表して心から御礼申し上げます。

おかげさまで、現在、本県にあっては全ての避難所が閉鎖され、県内外各地に避難されていた方々の仮設住宅等への入居が完了いたしました。

復旧、復興には長い時間が必要になるかもしれませんが、「新生ふくしま」に向け、一步一步力強く、粘り強く歩んでまいります。

今後とも御理解と御支援をお願いいたします。

このたびの温かい御厚情に対し、略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、貴団体（貴社）のますますの御発展をお祈り申し上げます。

敬 具

香川県綾川町 御中

平成24年3月

福島県知事 佐藤 雄平